

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年10月4日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103193
法人名	社会福祉法人松恵園
事業所名	グループホームほのぼの
所在地	鹿児島県鹿児島市西別府町1801番地 (電話) 099-283-7112
自己評価作成日	令和2年8月25日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年10月2日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームほのぼのは、自然に恵まれ小鳥のさえずりが聞こえ、朝日に目覚め夕陽を眺め楽しむ環境にあります。入居者は、穏やかなぬくもりに満ちた優しい気持ちで入居者様同士声を掛け合い、楽しみながら生活されています。毎日の脳トレや季節の花が咲く外に出かける散歩での歩行訓練を全員参加で行っています。毎月の工作を、気長に手伝いされ、素敵な作品が出来上がります。年間行事に認知症対策の、臨床美術も楽しみになっています。入居者様の喜び寂しさは寄り添い、その方の気持ちにそった支援をしています。又ご家族の思いにも耳を傾け、利用者様との穏やかな関係を作る努力をしています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームの敷地は広く、豊かな自然に囲まれて季節を感じながら気持ちよく過ごすことができる。同じ敷地には協力医療機関、同法人の特別養護老人ホームやデイサービスがあり、情報の共有が図られて緊急時の協力体制も整備されている。管理者と職員は利用者の気持ちに寄り添い、特に利用者の健康管理と安全確保に重点を置いて、日常のケアの充実为一体となって取り組み利用者・家族の安心につながっている。

利用者の思いにいかに関わり添うことができるか、そして出来る限り自立して楽しい生活を送れるかに管理者及び職員の関心が払われ、それらの実現に向けた意見交換と情報共有に重点を置いている。家族の意向や不安・心配ごとにも十分に配慮しながら、知人や友人とのふれあいや趣味の支援等も含めて利用者の言葉やしぐさ・行動に注意を払い日々サービス向上に向けた取り組みが実践されている。家族には月に3回の電話連絡や利用者ごとに毎月作成されるホーム便りでホームや利用者の現況を連絡している。

管理者自身が職員の思いや意見をよく聞き取ることが基本にして、日常の声かけを工夫するなど、相談や意見、提案を出しやすい雰囲気作りをしている。計画的に研修の充実を図り、日常業務の中や申し送り、スタッフ会議、定期的な個別面談などで職員とよく話し合い、職員の気持ちのケアも図りながら業務改善を進め、利用者がゆったりと楽しく、穏やかに過ごせるよう、また、職員が働きやすい就業環境作りなどに配慮し、取り組んでいる。

現在は感染症予防で制約の多い中、利用者の楽しみにつなげるために管理者と職員は、ホーム独自の夏祭り、月に2～3回のクッキング、多くの手作りおやつ、菜園や花壇の手入れ、生活リハビリや運動リハビリのほか、臨床美術や音楽、脳活性化の学習など多くの工夫をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日、理念を反復し利用者様のケアにつなげるよう、話し合い、実践している。	ホームの理念と法人の理念・基本方針に沿って、利用者が地域とふれあい個々のペースでゆったりと過ごせるように気持ちに寄り添い支援している。理念は掲示してスタッフ会議などで日常のケアと比較しながら振り返り、意義の理解を深めて支援に反映できるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	食事の食材は全て、地域の商店を利用しています。神社の掃除、ゴミ拾いなどに参加し、地域交流に努める努力をいっている。	感染症予防で現状は難しいが、地域の神社の清掃やしめ縄づくり、ごみ収集、小学校の文化祭等に参加、日常的には散歩や買い物の際に地域の方々と挨拶や話を交わしている。利用者の家族や友人・知人の来所も多く、時に野菜の差し入れ等もある。短大の実習生や踊り・歌・楽器演奏のボランティアも受け入れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議や、ボランティアの受け入れ、市域の作業に参加し、認知症の理解に努める。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一回運営推進会議を開催し、入居者様代表の参加もあり、思いや家族との関りの相談をの意見をもらい、サービス向上に活かしている。	現状は感染症予防で利用者と職員による会議で、写真を活用した報告書を委員に送り、委員から電話で意見をもらっている。従来は利用者や家族、薬剤師、民生委員、地域包括の職員等が参加して定期的に開催されている。ホームや利用者の現況や行事・事故等の活動報告のほか、地域情報やケア・環境整備等について委員から意見や助言を得てサービスや業務の改善に役立てている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	諸手続きに出向いた時、色々な情報交換を行い教えて頂いています	地域あんしんセンターの職員とは協力体制を築き、介護相談員の受入は行っている。市担当者には電話や訪問・メールによる各種の手続きや確認等の相談に意見や助言・提案などもらっている。また、研修会やグループホーム連絡協議会でも意見交換や情報交換を行い協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月身体拘束廃止委員会を開催しケアの確認と反省を行っている。又松恵園合同の研修会もあり再確認する。玄関のカギは開放し、センサーを設置し、身体拘束しない努力に努めている。	法人合同及びホームでも研修計画に沿って高齢者の権利擁護や虐待防止、身体拘束に関する勉強会を実施して、日常のケアの確認や振り返りで職員の理解を深めている。特に言葉による行動制限や気持ちの押さえつけがないように、日々のケアやスタッフ会議でも繰り返し確認している。居室や玄関等の施錠は原則として行わず、利用者が外出しそうな様子を察知した際は職員が寄り添い、一緒に散歩に出かけている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	合同研修会や、グループホームでの研修会を毎月行い、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	定期的に職員間集会で勉強会している。又運営推進会議時、地域包括支援センターの職員に助言もいただき、支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に重要事項説明会、契約証、個人情報に関する説明をしています。特に入院や退居での不安をお聞きし、説明を行い納得して頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月の請求書にほのぼの便りの送付、月に状況報告の電話連絡、面会でのご家族の心配事を、じっくりお聞きする時間を作っています。情報は、スタッフ会議で検討し、運営者に報告し運営に反映しています。	契約時から利用者や家族と信頼関係を築くように接し、入所後は利用者の気持ちに寄り添いながら思いの把握に努めている。家族とは電話や来所時、運営推進会議、ケアプラン見直しの際などに、不安や心配事も丁寧に聞き取っている。家族アンケートも実施し、日々の申し送りやスタッフ会議等で共有して対応を話し合い、家族にも報告しながらサービスに具体的に反映できるように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のスタッフ会議、日々の申し送り等の意見や提案を聞き、代表者に、報告して反映する機会を作っています。	職員の意見や提案は日常業務のほか申し送りや毎月のスタッフ会議、定期的な個別面談で把握に努め、特に利用者ケアに関しては十分に意見交換している。管理者自身が日頃から話しやすい環境づくりに努め、職員個々に対するケア・スキルアップのほか、業務及びサービス内容の見直しや改善につなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働時間の改善や給与面での見直し、働きやすい環境を作る努力をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会や、外の研修を受ける機会の確保や、働きながらの職員のケア向上に向けて、取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に加入し研修会に参加しています。同じ系列のグループホーム管理者会議に参加し、コミュニケーション作り、サービスの質を上げる努力をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新しい環境は不安だと思いますので、出来るだけお話をお聞きい不安を取り除き信頼関係を築けるように、職員間の情報共有に徹します。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居に当たり、これまでのご家族のご苦勞やこれからの不安や、希望をじっくりお聞きし信頼関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様、ご家族の希望を、出来ることと、出来ないことの等の見極めも見つけだし、じっくりと関わってみながら、職員とも話し合い見い出してみる。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の心と今までの過ごされた環境を理解して、日々の生活に取り入れ生活を築いていく努力をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の立場に立ち、面会、電話での報告、担当者会議等での悩み、喜びを、お聞きし日頃の生活ぶりやエピソードを伝え、利用者様の理解を築きたいです。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族以外の面会も受け入れています。又個別処遇での外出で馴染みの所などに外出しています。	契約時に丁寧に生活歴や暮らしぶりなどを聞き取り、暮らしの中で本人が希望する商店・美容室・墓参り等を把握して家族とも調整しながら支援に努めている。家族及び友人・知人の訪問が多くゆったりと過ごせるように配慮し、電話や手紙の取り次ぎ、ぬり絵や折り紙等の趣味、できる範囲の家事など支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご自分の意思を主張される方が多くなる一方で、介助しての歩行や食事についての、理解が進まれ「頑張って、先にどうぞ」と優しい声掛けして下さるようになって来ている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された方もその後の報告や、退院された方のフォローを行います。退居になられた利用者のご家族は、再入居の手続きをされます。紹介も多いです。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	何気ない日常の会話の中から本人の希望や意見を聞きだしています。困難な方は、家族の話から興味のある事などをお聞きし、会話の中に取り入れ話を引き出すようにしている。	入所時の聞き取り及び日常の対話や表情から、利用者の身体状況や暮らしぶり、生活歴や趣味、その時々々の思いや意向の把握に努めている。利用者の習慣や個性も尊重して利用者の立場になって考え、必要時には家族とも対応を検討し、より良い支援になるよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族との会話の中から、出来るだけ把握できるように努めています。昔話やふるさとの話には、笑顔や涙ぐまれたりされます。希望に沿い個別処遇などで馴染みの場所にお連れしています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人の出来ることを尊重し、お一人お一人の気持ちにそい、出来るだけ希望される自由な時間を過ごして頂く。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフとモニタリングを行い、出来る事、出来ない事、出来そうなことなどを話し合います。家族や関係者の意見もお聞きし、本人らしい生活に近づける介護計画を目指します。	利用者や家族の思いや意見、要望を聞き、また、主治医や看護師など関係者とも話し合い、職員の意見も反映したわかりやすい介護計画を作成している。日々の様子や変化などは介護日誌やバイタルチェック表に、職員の気づきや工夫も交えて正確に記述している。内容は共有して定期的なモニタリングやカンファレンスで状況に合わせた支援方法を話し合い、見直しや修正を適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎週火曜日は、カンファレンス、月1回のスタッフ会議での一人ずつのケア確認をし、気づいた事をケアにいかしています。ご家族からの希望や要望、ご本人様の思いなど、記録し全員が把握できるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の体調や思いに触れる事を、優先し生活の中に楽しみを見つけ出し、お買い物や墓参り、ご主人のお見舞いや、葬儀などにも職員がお連れしています。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	年2回の消防訓練は、消防署の方々の協力を頂いています。地域の方の、草払いの時のお茶出しに協力をもらい、ふれあいを持っていただきます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、家族の希望をお聞きしかかりつけ医で定期的に努めています。又専門の治療が必要な場合は、ご家族の希望をふまえて希望の病院を受診しています。	利用前の受診状況は十分把握し、本人や家族の希望するかかりつけ医、専門医の受診を、職員が主体になって支援している。個々のかかりつけ医及び家族との話し合いや情報交換も十分なされている。協力医療機関の看護師とも連携して健康管理に努め、協力医療機関により緊急時にも適切な医療が受けられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院の看護師に、利用者の情報や心配事等を、相談しています。体調変化や気になる事があった時は、その都度相談や助言を頂き、時には訪問して頂き適切な受診を受けられます。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院退院時の相談や情報提供など、足を運び利用者ご家族のお話をお聞きし、安心されるよう支援しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人・ご家族の意向を1番に考えています。入居時、担当者会議、家族会の時に、話す機会を作り、面会などで相談出来るような関係を作っています。現在、看取り事例が9件。主治医・看護師・薬剤師・民生委員・職員とチームになり本人とご家族の支援に努めます。</p>	<p>重度化や看取りに対する対応指針を定め、利用開始時に家族に説明し同意をもらっている。また、その後も本人や家族の思いの変化やホームの状況の変化などの際には、かかりつけ医や看護師、薬剤師、民生委員など関係者とも話し合い、対応の共有を図っている。看取りの事例もあり、希望の際はできること、できないことを説明して意思確認を行い支援している。協力医療機関と24時間体制で連携がとれ安心感につなげている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>研修会での実技や看護師を交えての勉強会を行っています。又、スタッフ会議での、ヒヤリハットの反省で、事故につながる時の対応や振り返りを、しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の消防訓練、地震訓練、自主防災訓練を行っています。災害用の食料を昼食でお出しし、災害対策訓練しました。</p>	<p>年2回はホーム単独で自主訓練を実施し、法人全体で火災や地震等を想定した避難訓練を消防署の協力を得ながら実施している。各種災害関連の講話や消火器の取り扱いの説明なども行われている。スプリンクラーや自動通報装置等の設置、食料・飲料水の備蓄、防災頭巾や卓上コンロ等も備えられ、報道される災害事例を基にした話し合いも行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居時に本人・ご家族との関りのなかで、性格、出来る事などを職員間で話し合い、お一人一人の人格を尊重し満足いただける支援に努めます。	入浴や排泄、食事の支援などの日常のケアでは個々の状況に応じた言葉遣いや声かけを工夫し、利用者の不安や羞恥心にも配慮しながら生活ペースや思い、希望を尊重した対応に努めている。関連する研修も実施し、きめ細かな観察や個人記録の取り扱いにも十分配慮して、人格や感性を大切に支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の話に耳を傾け、思いや希望を見つけ出す努力いたします。表現できない方は、表情などで汲み取り自己決定を汲み取ります。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人お一人の希望に添えるよう、起床される時間、散歩に行きたい時間なども範囲を広げご自宅にいたように過ごせる日々を支援します。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居時に、本人・ご家族との会話の中から、これまでの生活の様子お聞きし、希望に添えるよう支援します。毎日、更衣希望される方もいますが、尊重し支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を出来るだけ使い、食事の準備や後かたづけなども手伝っていただいています。地域のお店に買い物にいき、召し上がりたいものをお聞きしたりと、食の楽しみを見つけています。	旬の食材を活用しながら利用者の好みや栄養バランスにも配慮し、とろみやきざみ食等の工夫を行っている。盛り付けや食卓の準備・後片づけ等利用者のできることも一緒に行っている。季節の行事食や弁当持参の花見、ソーメン流しや外食、手作りおやつなど工夫して利用者の楽しみにつなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お一人お一人の体調に合わせてバランス良く摂取できるように食事形態や水分摂取に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、自立の方は声掛けし確認しています。介助の方はその方の出来ることはして頂き、仕上げるのケアを、行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者それぞれの排泄パターンを把握し時間を見て声掛け誘導し自立の支援しています。	利用者の見守りや排泄チェック表を活用し、利用者個々のリズムを把握して、誘導や声掛けを工夫しながら可能な限りトイレで排泄できるように支援している。個々に合わせた介護用品や排泄用品の使い分けや個人の習慣、心身の状況への配慮などもプランに組み込み、支援の際には羞恥心や不安の軽減に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	緩下剤の使用の方がいますが、なるべく自然な排便が出るよう、確実な水分摂取、食材にも工夫しています。運動不足の工夫として毎日の足踏み運動・散歩もとりにれています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の体調に合わせ、希望を尊重して入浴しています。基本は週3回、シャワー・浴槽に入られる方など体調に合わせています。	利用者の好みや習慣、また、健康状態や安全に配慮しながら、場合によってはシャワー浴や清拭・足浴に変更することの対応を含め、週3回の入浴をゆったりと安心して楽しめるように支援している。入浴をためらう場合には、職員の交替や繰り返しの声かけも工夫している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休まれる時間、起床される時間は基本の時間がありますが、その方の希望に合わせて、自由に過ごされています。その都度、職員が声掛けや、様子観察しています。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者全員の薬リストを作成し職員全員が把握できるようにしています。居宅管理指導を取り入れ、薬剤師の指導を職員全員で受けて理解に努めています。スタッフ会議でも理解に努めます。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方にあつた家事手伝い、花の観察など役割を見出し楽しみを見つけ出しています。毎月の工作や、クッキング、臨床美術など、日々の変化で気分転換の支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年6回の園外活動や、本人、ご家族の希望をお聞きし、個別処遇で外出しています。毎日全員お一人ずつの散歩、入院中のご主人さまのお見舞いなど、思いに寄り添い支援しています。（今年はコロナウイルスで、外出できていない状況です）	現状は感染症予防のため難しいものもあるが、利用者の希望を日頃の暮らしで把握し、健康状態や天候を見ながら日常は個別に散歩や外気浴、菜園の手入れ、買い物に出かけている。計画にも組み込んで家族も一緒に、弁当持参の季節の花見や水族館、フルーツ狩り、レストランでの外食など楽しく外出できるよう工夫している。家族の協力のもと美容院や墓参り、帰宅、外食等も支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	普段はお金を所持する事はありませんが、個別処遇などで外出した時に、ご家族の理解の元、お土産やお好きな物を、購入されています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	入居者の希望があればすぐに対応しています。又ご家族からの贈り物があつた時や、月3回の状況報告の電話も、直接話して頂いています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温度・湿度は、各部屋、食堂に温度・湿度系が置いてあり常に変化に気を付け対応、トイレには、自動消臭の機械が設置してあり、爽やかな香りが漂います。玄関、食堂、庭には季節の花が咲き季節を感じていただきます。	リビングは明るく解放的で季節の花が置かれており、周囲の壁には手作りの作品や行事の写真などが飾られ、ソファ・テーブルなどは利用者の動き易さにも配慮されてゆったりと過ごせるようになっている。清潔感や空調には細かい配慮が感じられ、利用者にとって不快に感じる音や匂いもなく気持ちよく過ごせる環境である。生活リハビリや運動リハビリのほか、臨床美術や音楽療法、脳活性化の学習なども行われている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	その方にあつた会話やTV、気持ちを汲んだレクリエーションを取り入れ、静かになる時や、大笑いして話が弾まれたり、賑やかで楽しく過ごされています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご自宅で使われていた物や、作品などが飾られ、穏やかに過ごされています。面会が多く、作品を、ご家族が喜ばれ話も弾まれます。</p>	<p>日常が本人のペースで居心地よく過ごせるように、使い慣れた身の回りの小物・寝具・写真・自作の作品などを持ち込んでもらい、家族とも協力しながら環境づくりを工夫している。居室は明るく洗面台・ベッド・タンス・エアコンが設置され、動きやすさにも配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者様の希望を取り入れ動きやすい部屋作りをしています。工作や、家事手伝いなど、出来る事で気ない事を、理解し出来るだけご自分で出来ることに工夫しています。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない